

水生物園では井の頭池にまつわる水草も展示しています。身近な池に広がる世界をのぞいてみませんか。

今月のピックアップ動物は番号の場所で見られます



## イノカシラフラスコモ、60年ぶりの復活!

井の頭池の「かいぼり」により、約60年ぶりに生存が確認されたイノカシラフラスコモ。

水槽に目をこらすと、直径1mmにも満たない茎から放射状に細長い葉が伸びる繊細な姿、さらに光合成により浮きあがる小さな気泡も観察できます。

間近で観察しながら、飛躍的に透明度が向上し池底まで太陽光が降りそぐ、井の頭池の水中の世界に思いを馳せてみませんか。

※かいぼり：池や沼の水を抜いたり、汲みだしたりして干すこと

## 日本の森林にくらす鳥、ミゾゴイ



エサを食べるミゾゴイ

ミゾゴイは、コサギやアオサギなどと同じサギのなかまです。コサギなどは水辺にくらし、主に魚を捕まえて食べるため、長いクチバシをしています。一方、森林でくらすミゾゴイは、短いクチバシをしています。これは、地面を歩きながら、ミミズやサワガニ、昆虫など、土の中や

地表にすむ生きものを食べるのに適した形になっています。

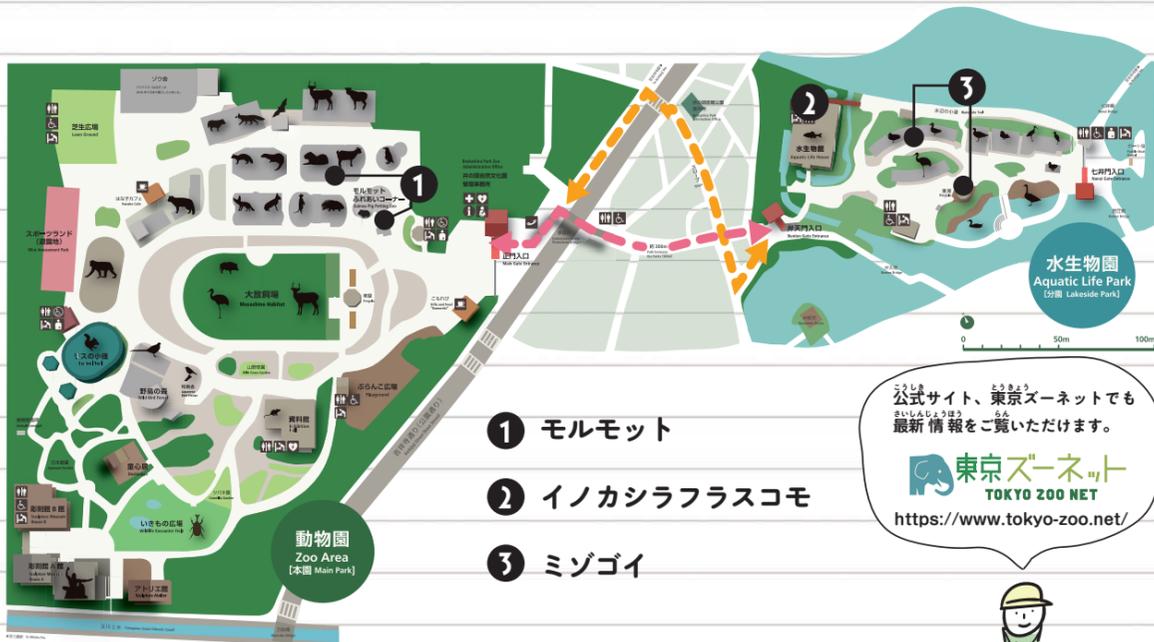
水生物園にいる他のサギのなかまと、クチバシなどの体のつくりを見比べてみてください。



ミゾゴイ



コサギ



- ① モルモット
- ② イノカシラフラスコモ
- ③ ミゾゴイ

公式サイト、東京ズーネットでも最新情報をご覧ください。

東京ズーネット  
TOKYO ZOO NET  
<https://www.tokyo-zoo.net/>



公式 SNS やってます!

文化園の最新情報を発信しています。



Twitter



Instagram



井の頭自然文化園 80周年記念イベント

# 飼育係からのお便り

園内で見られる動物について飼育係がアピールします!



2022年

7月号



動物園 (本園)

## 1 モルモット

今月のピックアップ動物は...

## モルモットの赤ちゃん

モルモットは周年繁殖のため、井の頭自然文化園では1年を通して赤ちゃんをご観いただくことができます。

モルモットの赤ちゃんは、生まれたときから毛が生えており、目も開いており、数時間後にはおぼつかない足取りながらも歩き始めます。また数日後にはお母さんのおっぱいだけでなく、草などの固形のエサも食べるようになります。

※周年繁殖：1年中いつでも繁殖することができること



生後0日の赤ちゃん

## 赤ちゃんの毛の色と毛質は何で決まる?



オレンジと白の善毛



似てない親子

モルモットの赤ちゃんも人と同じで、両親、祖父母、曾祖父母などが持っていた様々な特徴を受け継いで生まれてきます。

飼育担当者は、モルモットの赤ちゃんが生まれるとき「どんな毛色、毛質の赤ちゃんが生まれるかな」と楽しみにしています。それは、赤ちゃんの毛色や毛質が両親に似ていないことが多くあり、予想もつかない姿で生まれてくることがあるからです。

右の写真の親子は全然似ていないと思いませんか?

## デザイン改革

井の頭自然文化園では、2007(平成19)年・2008(平成20)年に園内のデザインと色彩についてガイドラインを作成しました。

動物舎の看板だけでなく、園内の案内・誘導サイン、建物やベンチ・ゴミ箱まで、緑豊かな園内の自然と建物などの色彩が調和した景観のなかで、ごゆっくりとお過ごしください。



2つのデザインガイドライン



モルモットふれあいコーナー

文化園80年のあゆみ



テンジクネズミ (モルモット)

英名 Domesticated Guinea Pig

学名 *Cavia porcellus*

分類 齧歯目テンジクネズミ科